

いちご栽培管理 (H29.3.)

(有) 丸 富

2月は強い低気圧が時々通過し、気温は高めだったが、強風が吹き荒れることも多かった。イチゴは大玉が多く収穫量が伸びた。そのため、樹勢低下により各地でダニが多く発生した。ウドコ病は比較的少なかった。

電照対策

芯葉が生殖生長から栄養生長に変わったら、電照を切る。電照を点けて収穫する場合は、その時間を差し引いて点灯する。

肥大促進

気温が上がり着色が進むと、小玉傾向になる。日中温度を下げ、果実が肥大するように環境を整える。果実の肥大促進に **K-40 250g/10a** と **サンミネーラ 50g/10a** を1ヶ月に2回灌水する。発根と根張りの促進に **G バランス DF1 kg/10a** と **発根力 1ℓ/10a** を1ヶ月に1回灌水する。

害虫対策

ダニは樹勢が低下すると、繁殖が盛んになる。ハウス内が25℃以上になると、ダニが活発に繁殖する。害虫が発生する前に **時を越えた贈り物 500倍** と **バイオアクト TS 2,000倍** を葉面散布する。灌水の場合は **時を越えた贈り物 200g/10a** と **バイオアクト TS 50~70cc/10a** を3~5日毎に灌水する。

軟弱徒長抑制

軟弱徒長すると、果梗が伸びるので、早目に抑制する。軟弱徒長抑制に **ウルカル 500倍** と **サンミネーラ 2,000倍** を2~3回葉面散布する。灌水で **ウルカル 300~500cc/10a** と **サンミネーラ 50g/10a** を5~7日毎に灌水する。

病害対策

強健な株の育成に **サンミネーラ 1,000~2,000倍** を2~3回葉面散布して、窒素消化と茎葉の充実を図る。

親苗管理

近日点では生殖生長するので、ランナーが増えにくい。ランナーが出やすいよう、親苗を栄養生長に管理する。

追肥(液肥)

収穫量や着果負担によって施用量は異なるが、追肥は必要量をこまめに灌水する。

時を越えた贈り物	200~300g	} 5~7日毎に灌水する場合 ※生育状況に合わせて増減する。
プロ液肥	2~3kg	
サンミネーラ	50g	
バイオアクト TS	50~70g	

※サンミネーラの代わりに、シリアップ 100~150cc、海藻のエキス 50g、K-40 100g、根酸 100g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)